

## 伝統を守り新たな挑戦を 上野中学校創立30周年記念

上野中学校創立30周年記念式典は9日、同校体育館で行われました。式典では市長の祝辞や学校功労者への感謝状贈呈、吹奏楽部による記念演奏などが行われ、生徒代表で生徒会長の鈴木峻介さん(3年)が「先輩方がこれまで築いてきた伝統を大切に、新しいことに挑戦していこう」と決意の言葉を述べました。

同校は北上中学校の生徒数増加により昭和59年に開校。今年で30年を迎え、すでに4,018人の卒業生を輩出しています。

歴代の校長やスポーツ活動指導者などの学校功労者に感謝状が贈呈されました



相去ふるさとまつりで鬼剣舞を披露する相去鬼剣舞保存会の皆さん

## 地元物産・芸能の魅力を発信 相去ふるさとまつり

相去ふるさとまつりは10月27日、相去体育館と相去地区交流センターで開催されました。

同体育館を会場に吹奏楽発表や鬼剣舞、鹿踊り、太鼓などが披露され、同交流センターでは協賛企業による出店、地元物産品や被災地の海産物が販売されるなど多くの人でにぎわっていました。

相去町の後藤るみ子さん(9歳)は子どもの美女実さん(9歳)と訪れ「子どもも楽しめるコーナーが多く、吹奏楽は近くで聞けてよかった」と話していました。

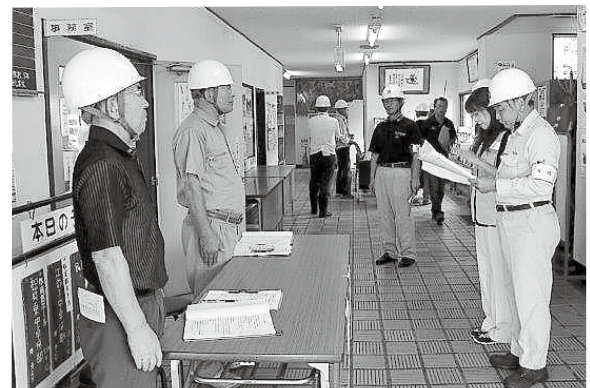
## 宝くじ助成で地域防災

### 地域イベントで活用

黒岩自治振興会(菅原憲会長)は宝くじの助成を受け、外用高テーブル、スリッパ、災害用煮炊釜を取りそろえました。テーブルはまつりの物産販売などに使用。スリッパは破損が激しくなっていた交流センターのものを新調し、同会交流事業や敬老会で利用されます。

菅原会長は「煮炊釜は倉庫に保管しておくのではなく、災害時に誰もが使えるように、親水公園の野外活動などさまざまなイベントで利用していきたい」と話していました。

湧湧ランドくろいわ芸・農・まつりで活用された災害用の煮炊釜



新たに整備されたトランシーバーを利用し、情報伝達訓練が行われました

### 災害時に備えて

和賀地区自治協議会(佐々木和人会長)では、東日本大震災の教訓から、災害時における地域の情報収集や伝達手段を確保するため、地区内自主防災会に携帯型デジタルトランシーバーを整備しました。

これは、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金(地域防災組織育成助成事業)を活用し、導入したものです。

地区の防災訓練では、トランシーバーにより情報伝達訓練を実施し、万が一のときに備えていました。

## 自然の大切さを再認識 和賀川流域自然探索会

和賀川流域自然探索会(和賀川の清流を守る会主催)は4日、夏油高原三角沼周辺で行われました。講師は自然公園保護管理員の遠藤政一さん。参加者は散策しながら遠藤さんの解説に耳を傾けていました。

参加した八重樫昭彦さん(立花・55歳)は「ほどよい運動になり気持ち良かった。三角沼にイワナがいたのに驚いた」と話していました。同探索会は和賀川流域に残る自然の大切さを再認識してもらうために平成6年から開催しています。

対岸の熊棚について講師の遠藤さんから説明をうける参加者



久慈市から参加し小袖漁撈唄を披露する  
の皆さん

## 民俗芸能を次の世代へ 秋の子どもみちのく芸能まつり

秋の子どもみちのく芸能まつりは3日、さくらホールで開催されました。市内外から6団体が参加。立花念仏剣舞、飯豊こども鬼剣舞、小袖漁撈唄、金津流こども獅子躍、道地ひな子剣舞などが披露され、地域で受け継がれている民俗芸能で会場を沸かせていました。

まつりを見に来ていた工藤洋行さん(花巻市・38歳)は「小さい子が一生懸命踊っている姿はすばらしい。小さいころから民俗芸能を地域の人に教わってやっていくのは大切なことだと思う」と話していました。

## 百歳いつまでもお元気で 小田島フミさん

ケアハウス北星荘に入所している小田島フミさんが百歳を迎え10月28日、同施設で祝う会が開かれました。フミさんは大正2年10月28日生まれ。子ども5人をもうけ、孫6人、ひ孫5人に恵まれています。歌やコーラスが得意だというフミさん。高橋市長から祝い状と記念品を受けると、お礼の歌『もみじ』を元気に披露しました。小田島さんは「みなさんにお会いし、とても幸せです。いつの間にか百歳になって人生の中で一番喜んでます」と話していました。

家族と市長に囲まれ記念撮影に  
応じるフミさん(前列右)



観客と一体となって盛り上がる那覇太鼓  
の皆さん

## チバリヨ(がんばれ)東北! 那覇太鼓 東日本大震災被災地慰問公演

沖縄県の太鼓グループ「那覇太鼓」は1日から3日、当市を拠点に東日本大震災の被災地へ慰問公演に訪れました。同グループは震災直後に被災地へ慰問公演を行い、今回が2回目。1日・2日に大槌町、山田町、大船渡市などを訪れ、3日にショッピングセンターパルとフォルダパークで最後の公演を行いました。

公演を見た矢巾町の半田優奈さん(9歳)と美羽さん(9歳)は「近くで太鼓を見たのは初めて、音がすごく迫力があった」と話していました。